

2023年8月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月14日

上場会社名 株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス
 コード番号 2927 URL <https://www.ams-life.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 浅山 雄彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役会長室長 (氏名) 南方 茂穂

TEL 054-281-5238

四半期報告書提出予定日 2023年7月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第3四半期の連結業績(2022年9月1日～2023年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第3四半期	18,695	11.9	1,054	53.4	1,085	9.9	682	27.3
2022年8月期第3四半期	16,713		687		987		535	

(注) 包括利益 2023年8月期第3四半期 668百万円 (18.9%) 2022年8月期第3四半期 562百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第3四半期	48.51	48.50
2022年8月期第3四半期	38.12	37.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第3四半期	39,906	12,761	31.9
2022年8月期	37,348	12,445	33.2

(参考) 自己資本 2023年8月期第3四半期 12,714百万円 2022年8月期 12,414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期		15.00		15.00	30.00
2023年8月期		12.50			
2023年8月期(予想)				15.00	27.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年8月期の連結業績予想(2022年9月1日～2023年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,042	8.9	1,555	53.8	1,570	16.9	983	33.7	70.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年8月期3Q	14,387,699 株	2022年8月期	14,387,699 株
期末自己株式数	2023年8月期3Q	316,094 株	2022年8月期	352,594 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年8月期3Q	14,060,488 株	2022年8月期3Q	14,057,843 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信の添付資料4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、新業態への進出による経営の多角化と自社グループ内に様々な業態を持つことにより、自社グループ内で全てを完結する複合企業体を目指しております。本年4月に開校した日本語学校に合わせ、旅行業、観光事業を1月よりスタートさせ、また、ベトナム国の給食事業企業を1月に連結子会社化いたしました。

業績につきましては、好調を維持した医薬品事業が増収増益となったことに加え、アフターコロナにより回復基調にある百貨店事業や飲食事業が増収となり、連結売上高は18,695百万円（前年同期比111.9%）となりました。利益面につきましては、増収効果により売上総利益が増加、営業利益は1,054百万円（前年同期比153.4%）となりました。経常利益については、営業利益増益影響により1,085百万円（前年同期比109.9%）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は682百万円（前年同期比127.3%）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(ヘルスケア事業)

・OEM部門

ダイエット関連、ロコモ対策、アイケアなど機能性表示食品全般の受注が堅調に推移いたしました。さらに、外出機会の増加やインバウンド消費の回復等により店舗販売業の顧客における受注が好調に推移いたしました。

生産面においては、昨年10月に千葉工場の改修工事が完了いたしました。イスラム圏での売上拡大を図るため、同工場のハラール認証取得に向け取り組んでおります。

・自社製品販売部門

店舗販売は、来客数の増加や催事・相談会等の実施数増加による増収など回復基調で推移いたしました。海外販売は、美容商材のほか、アンチエイジング製品が流行となり売上に寄与いたしました。通信販売は、販売促進活動を強化している機能性表示食品が堅調に推移いたしました。機能性表示食品のラインアップ拡充など新商品開発に注力しております。

以上の結果、ヘルスケア事業の業績は、売上高11,085百万円（前年同期比99.1%）、営業利益1,408百万円（前年同期比97.9%）となりました。

(医薬品事業)

医薬品市場は、大別して医師の処方箋に基づき病院・診療所、調剤薬局で購入する医療用医薬品市場と、医師の処方箋が要らず、ドラッグストアで購入する一般用医薬品市場に分けられます。

医薬品事業の好調を牽引している一般用医薬品のOEM受注が増加したほか、医療用医薬品については、重点販売製品として位置付けている自社製造、医療用ジェネリック医薬品『ピムロ顆粒』（下剤）、生活習慣改善薬のジェネリック医薬品『シルデナフィル錠』『フィナステリド錠』『タダラフィル錠』が順調に売上を伸ばした影響が加わり、利益面において安定的に黒字が出せる体制となりました。

以上の結果、医薬品事業の業績は、売上高が1,589百万円（前年同期比120.9%）、営業利益152百万円（前年同期比119.4%）となりました。

(百貨店事業)

さいか屋では、抜本的な経営スキームの改革による黒字体質への早期転換を目指し、逐次諸政策を進めております。昨年9・10月に開催した「創業150年記念感謝還元祭」が売上高増に寄与いたしました。さらに、2月末日でのニトリ藤沢店撤退、並びに6月2日の国内最大手、大型家電量販店であるヤマダデンキ開店に向けて、1・2月に藤沢店全館にて開催した「大幅改装のための改装売りつくしセール」が売上増に寄与、3月以降は、4階から7階の改装に伴い、地下1階から3階の百貨店フロアの効率的な売場環境の構築を推進しました。

また、金地金買取の好調に加え、グループのシナジー効果を活用した販売促進企画（健康食品の通販広告を神奈川新聞に掲載する等）や、各お取引先様との取引条件改定交渉を実施する等、様々な取組みにより収益構造が改善しております。

以上の結果、百貨店事業の業績は、売上高が3,961百万円（前年同期比112.5%）、営業利益11百万円（前年同期と比べ140百万円の営業利益の改善）となりました。

(飲食事業)

なすび各店舗において個人客を中心に来客数が増加傾向にあり、特に12月は大幅に客足が増え売上増に寄与いたしました。その中でも個人客需要を対象とした店舗である「十千花前（じっせんかぜん）静岡店」「魚弥長久（うおやながひさ）」等が好調に推移いたしました。コロナ5類移行間近の3月からは、法人関係の宴会や会食が急増したことに加え、観光団体からの予約も増加し大型店舗の「なすび総本店」「茄子の花 無庵（なすのはな むあん）」等が好調となりました。また、ケータリングの「なすび庵」も好調を維持しております。

以上の結果、飲食事業の業績は決算期変更の影響も加わり、売上高が1,093百万円（前年同期比172.5%）、営業損失114百万円（前年同期に比べ184百万円の営業利益の改善）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,481百万円増加し、18,606百万円となりました。この増加要因は主として、商品及び製品が560百万円、流動資産のその他が389百万円、仕掛品が214百万円、原材料及び貯蔵品が173百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,076百万円増加し、21,299百万円となりました。この増加要因は主として、のれんの償却等により無形固定資産が28百万円減少した反面、有形固定資産が1,153百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,392百万円増加し、14,611百万円となりました。この増加要因は主として、短期借入金が1,216百万円、賞与引当金が105百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ848百万円増加し、12,533百万円となりました。この増加要因は主として、長期借入金が625百万円、固定負債のその他が213百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ316百万円増加し、12,761百万円となりました。この増加要因は主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が295百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2023年7月3日に公表の2023年8月期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「通期連結業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,377,778	10,455,276
受取手形及び売掛金	2,578,619	2,645,267
商品及び製品	1,529,950	2,090,087
仕掛品	834,751	1,049,646
原材料及び貯蔵品	1,363,303	1,537,119
その他	456,670	846,042
貸倒引当金	△15,816	△17,158
流動資産合計	17,125,257	18,606,282
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,251,945	5,785,265
土地	9,604,660	10,057,874
その他（純額）	1,066,211	1,233,473
有形固定資産合計	15,922,817	17,076,612
無形固定資産		
のれん	1,338,673	1,328,862
その他	118,076	99,466
無形固定資産合計	1,456,749	1,428,329
投資その他の資産		
その他	2,901,625	2,852,946
貸倒引当金	△57,789	△58,006
投資その他の資産合計	2,843,836	2,794,939
固定資産合計	20,223,403	21,299,881
資産合計	37,348,660	39,906,163
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,414,316	3,413,487
短期借入金	6,998,833	8,215,233
未払法人税等	175,292	204,675
賞与引当金	152,512	258,204
契約負債	1,331,472	1,273,849
その他	1,146,322	1,245,568
流動負債合計	13,218,748	14,611,018
固定負債		
長期借入金	10,136,122	10,762,002
役員退職慰労引当金	230,435	245,038
退職給付に係る負債	770,959	765,648
その他	547,245	760,973
固定負債合計	11,684,762	12,533,662
負債合計	24,903,511	27,144,681

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,131,839	2,131,839
資本剰余金	2,640,231	2,631,963
利益剰余金	7,880,483	8,176,105
自己株式	△305,391	△273,770
株主資本合計	12,347,163	12,666,138
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△808	△16,814
為替換算調整勘定	25,907	26,250
退職給付に係る調整累計額	42,259	38,813
その他の包括利益累計額合計	67,358	48,249
新株予約権	24,568	—
非支配株主持分	6,058	47,094
純資産合計	12,445,149	12,761,482
負債純資産合計	37,348,660	39,906,163

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年9月1日 至2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年9月1日 至2023年5月31日)
売上高	16,713,301	18,695,993
売上原価	10,396,027	11,810,740
売上総利益	6,317,273	6,885,252
販売費及び一般管理費	5,629,929	5,831,201
営業利益	687,343	1,054,050
営業外収益		
受取利息	2,914	3,073
受取配当金	7,045	8,040
投資有価証券売却益	9,593	27,885
助成金収入	318,534	16,695
その他	23,555	30,259
営業外収益合計	361,642	85,954
営業外費用		
支払利息	44,154	42,266
投資有価証券売却損	5,113	46
その他	11,958	12,508
営業外費用合計	61,226	54,821
経常利益	987,760	1,085,184
特別利益		
固定資産売却益	285	267
債務免除益	—	46,838
新株予約権戻入益	—	332
その他	—	199
特別利益合計	285	47,637
特別損失		
固定資産売却損	61	7
固定資産除却損	70,615	20,743
投資有価証券評価損	307	—
役員退職慰労金	8,346	—
店舗閉鎖損失	—	28,277
事業構造改善費用	—	95,610
その他	6,415	—
特別損失合計	85,745	144,639
税金等調整前四半期純利益	902,300	988,182
法人税、住民税及び事業税	363,098	397,000
法人税等調整額	3,936	△93,742
法人税等合計	367,035	303,257
四半期純利益	535,264	684,925
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△614	2,881
親会社株主に帰属する四半期純利益	535,879	682,043

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	535,264	684,925
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,171	△16,006
為替換算調整勘定	13,164	2,898
退職給付に係る調整額	△1,400	△3,446
その他の包括利益合計	26,934	△16,554
四半期包括利益	562,199	668,371
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	562,814	662,933
非支配株主に係る四半期包括利益	△614	5,437

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	ヘルスケア 事業	医薬品事業	百貨店事業	飲食事業	その他事業	
売上高						
外部顧客への売上高	11,190,203	1,315,256	3,520,752	633,780	53,308	16,713,301
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	11,190,203	1,315,256	3,520,752	633,780	53,308	16,713,301
セグメント利益又は損失(△)	1,438,694	127,502	△129,111	△298,647	△9,132	1,129,305

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,129,305
全社費用(注)	△441,961
四半期連結損益計算書の営業利益	687,343

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	ヘルスケア 事業	医薬品事業	百貨店事業	飲食事業	その他事業	
売上高						
外部顧客への売上高	11,085,636	1,589,603	3,961,738	1,093,560	965,454	18,695,993
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	11,085,636	1,589,603	3,961,738	1,093,560	965,454	18,695,993
セグメント利益又は損失(△)	1,408,547	152,251	11,470	△114,101	△10,743	1,447,424

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,447,424
全社費用(注)	△393,374
四半期連結損益計算書の営業利益	1,054,050

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産の減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

5SPRO Joint Stock Companyの株式を取得し、同社を連結の範囲に含めたことに伴い、「その他事業」セグメントにおいてのれんを認識しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は109,647千円であります。